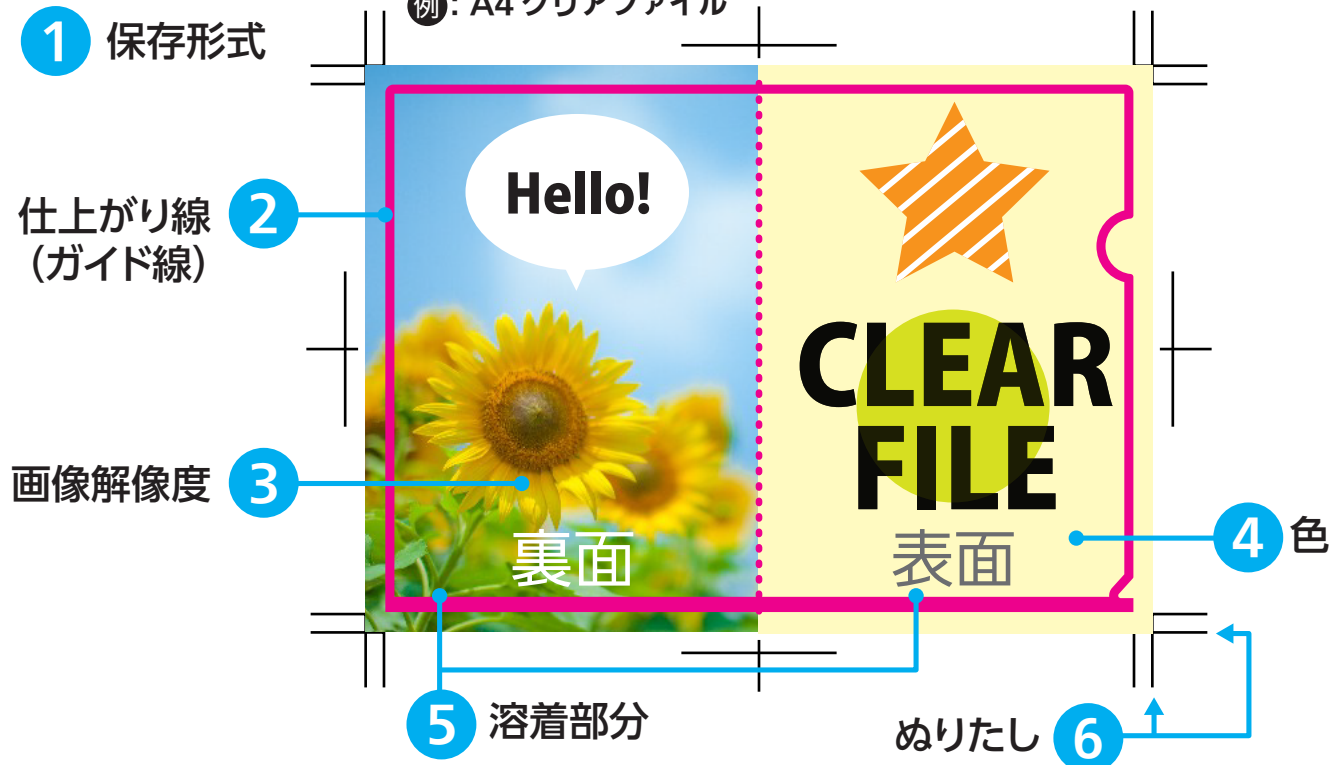


※完全データとは、当社で手を加える必要のないデータのことです。

Adobe Photoshop 用 カラーデータ作成時のチェックポイント

例: A4 クリアファイル



保存形式 ① 「このレイヤーは消してください」レイヤーを消してからレイヤーを統合し、カラープロファイルの埋め込みのチェックを外してPDF/X-4形式もしくはPSD形式で保存して入稿してください。

仕上がり線(ガイド線) ② ピンクのラインの外側で型抜きします。切れてはいけない文字やデザインはラインより3mm内側にデザインしてください。

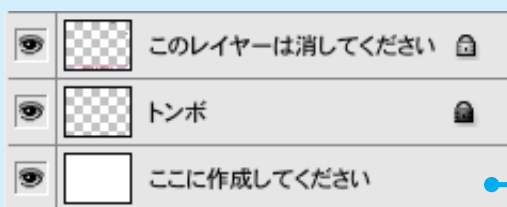
画像解像度 ③ 原寸サイズで300~350dpiを推奨しております。解像度はメニューの「イメージ」→「画像解像度」で確認することができます。必ずCMYKにしてプロファイルは埋め込まないでください。

色 ④ プロファイルは埋め込まれていないCMYKデータで入稿してください。

溶着部分 ⑤ 溶着部分への印刷は可能ですが見せたいデザインや読ませたい文字は下の仕上がり線より7mm以上内側に配置して下さい。

ぬりたし ⑥ 仕上がり部分まで絵柄がある場合は、仕上がり部分より3mm外側までぬりたしをつけてください。

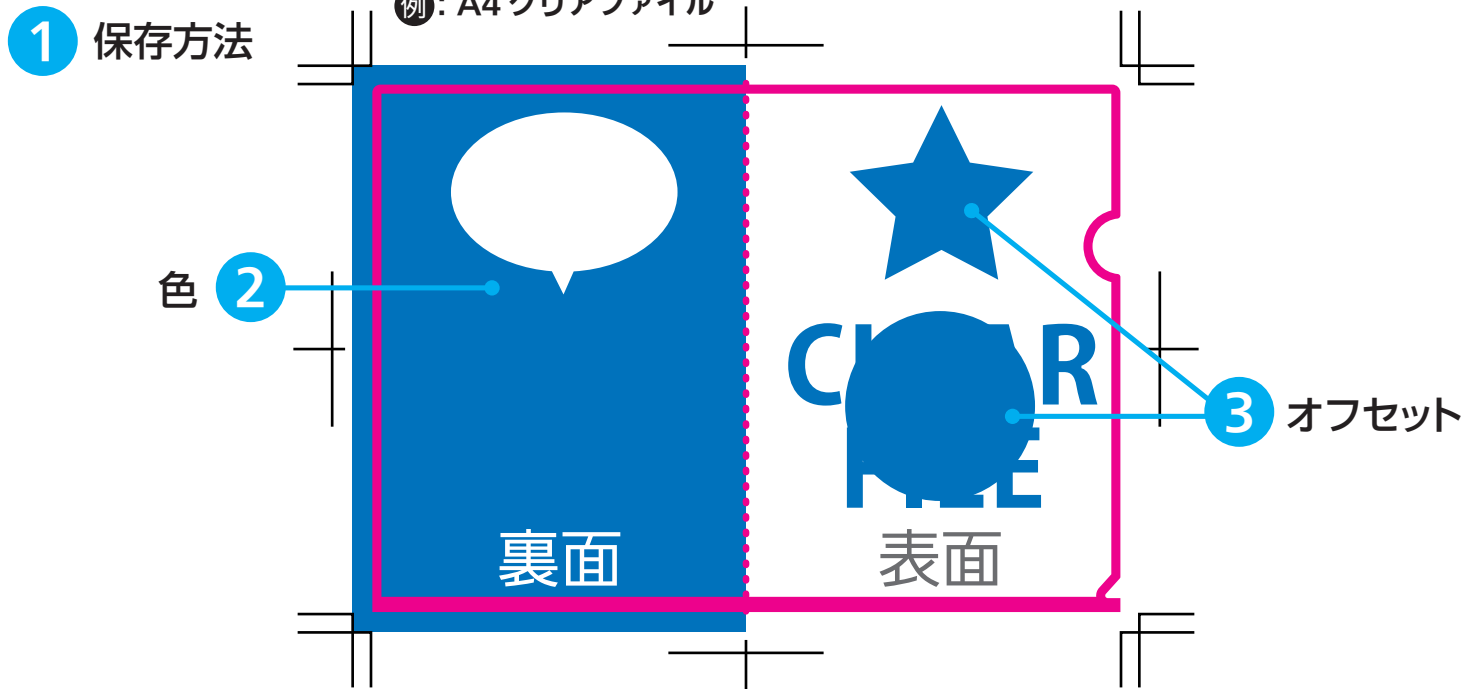
作成レイヤー ⑦ 「ここに作成してください」レイヤーにデータを作成してください。作成レイヤーは増えても構いません。「トンボ」レイヤーは変更禁止です。入稿の際は「このレイヤーは消してください」レイヤーは、クリアファイル仕上りのアタリとなりますので最終的には消してから保存してください。



⑦ 作成レイヤー

クリアファイルなどは透明な素材のため、透けてほしくない部分、白く見せたい部分には白版の作成が必要になります。弊社では特色 White（青色）という色で表現しています。

Adobe Photoshop 用 白データ作成時のチェックポイント

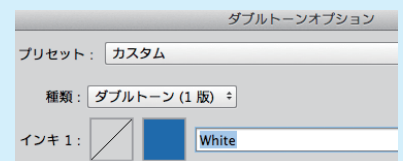


以下の三種類の白版は、弊社でご用意いたします。入稿時にお選びください。



保存方法 1 カラーのデータと、**白版のみのデータ**の2つに分けて保存してください。入稿データは2つとなりますが、1つのフォルダにまとめて圧縮(zip)して入稿ください。

色 2 **ダブルトーン**の**White**のデータにしてください。まず、**グレースケール**にし、**K**のみのデータを作成します。その際、透けたくない箇所が100%になっているか、濃度を確認してください。その後、**ダブルトーン**で**White**に**変換**します。



グレースケールへの変換方法：メニューの「イメージ」→「モード」→「**グレースケール**」
Whiteへの変換方法：メニュー「イメージ」→「モード」→「**ダブルトーン**」
種類:ダブルトーン(1版)、色:C100M50、名前:**White**

オフセット 3 カラーデータと白データがピッタリ同じサイズだと、印刷時の素材の伸びで絵柄から白がはみ出してしまうため、白のサイズを**変更**する必要があります。
方法：選択範囲→選択範囲の変更→縮小(もしくは、拡張)



部分的に白を印刷したい

原寸サイズで解像度350dpiの場合、カラーデータよりも**2ピクセル**縮小すると、より綺麗な仕上がりになります。



白を白として見せたい

原寸サイズで解像度350dpiの場合、カラーデータよりも**2ピクセル**拡張すると、より綺麗な仕上がりになります。